



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ドリコム

コード番号 3793 URL <http://www.drecom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内藤 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長

(氏名) 後藤 英紀

TEL 03-3232-1600

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,727	—	1,014	—	1,010	—	1,018	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	7,536.00	7,448.49
23年3月期第3四半期	—	—

(注)23年3月期第3四半期につきましては、連結として開示したため、23年3月期第3四半期は記載しておりません。
当社は平成23年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。当期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,838	—	2,422	—	62.1	—
23年3月期	2,029	—	1,365	—	63.9	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,382百万円 23年3月期 1,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	169.9	1,300	—	1,300	—	1,100	—	8,133.09

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	135,475 株	23年3月期	— 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	135,161 株	23年3月期3Q	— 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
 2. 当社は、当期より連結財務諸表を作成していないため、前期との対比は記載しておりません。
- 当社は、平成23年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。当期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

我が国の携帯電話市場では、スマートフォンの需要が本格的に拡大しております。2011年度通期の携帯電話端末の出荷台数は4,160万台となり、うちスマートフォン出荷台数が2,330万台と、全体の56%を占めると予想されております(株式会社MM総研調べ)。

このような環境の中、当第3四半期累計期間におけるIT業界では、スマートフォン市場の急成長を受けてGREE、mixi、DeNAを中心とした国内SNSプラットフォーム上のソーシャルアプリケーション市場も急速に拡大しております。また、プラットフォームの海外展開により、市場にはさらなる拡大が見込まれ、様々な機会創出への期待が高まっております。ソーシャルアプリケーションは市場拡大・活性化に向けて重要な役割を担っております。

こうした状況のもと、当社は「ソーシャル」をキーワードにしたサービスに軸を置き、スマートフォン向けの開発を積極的に行い、各事業間シナジーの強化と収益基盤の確立に努めております。とりわけ注力事業であるソーシャルゲーム事業では効率的なプロモーションと、ユーザーのニーズに対応したコンテンツ提供を行いつつ、複数プラットフォームへ展開を図ることで収益力強化に取り組んでまいりました。モバイルコンテンツ事業では、携帯電話向けコンテンツの充実・改善に取り組むことでユーザー満足度の向上を図り、また、アドソリューション事業においては、ソーシャルゲーム事業と連携した広告サービスの提供に取り組んでまいりました。

以上の取り組みの結果、当第3四半期累計期間の業績といたしましては、売上高4,727,528千円、営業利益1,014,053千円、経常利益1,010,448千円、四半期純利益1,018,573千円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

エンタメウェブ

エンタメウェブでは、ソーシャルゲーム事業において、効率的な広告宣伝及びプロモーション強化等に取り組み、mixiプラットフォームへの横展開を進めたことにより、既存タイトルの売上が引き続き好調に推移し、当社の業績を牽引いたしました。また、モバイルコンテンツ事業でも、携帯電話向け着メロサイト等のサービス改善やコンテンツの充実に努めました。その結果、売上高は4,243,872千円となりました。

収益面では、ソーシャルゲーム事業において、新規ユーザーの獲得を目的とした広告宣伝費やゲームクオリティ向上等を重視した開発費用が増加いたしました。増収効果で吸収し、セグメント利益は1,064,134千円となりました。

マーケティングソリューション

マーケティングソリューションでは、アドソリューション事業において、ソーシャル・ネットワーキングサービス(SNS)「mixi」上で公式リワード広告「mixiポイントプラス」の提供を10月18日より開始し、顧客となる法人の投資抑制の動きが継続し、売上高は491,350千円となりました。一方、収益に見合った固定費の削減にも務めましたが、効果が先送りとなり、50,081千円のセグメント損失となりました。

今後につきましては、各事業において、既存ユーザーの継続獲得に向けての取り組みを強化すると同時に、スマートフォン向けコンテンツ市場の急速な拡大に対応したサービス開発体制の拡充を図り、付加価値向上を目指したサービスの提供を行ってまいります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は3,838,517千円となり、前事業年度末に比べ1,747,596千円増加いたしました。その主な要因は、ソーシャルゲーム事業の売上増加に伴う売上債権が899,085千円増加したことによるものであります。

負債につきましても、前事業年度末に比べ690,340千円増加いたしました。これは、主にソーシャルゲーム事業の売上増加に伴う支払手数料の未払金が466,587千円増加した一方で、有利子負債30,839千円の返済により借入金が増加したことによるものであります。

自己資本比率につきましては、62.1%と前事業年度末から1.8ポイント減少いたしました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しは、現時点では変更しておりません。今後業績予想の修正が必要と判断された場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

平成23年10月1日付で株式分割を行いました。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	573,370	1,343,753
受取手形及び売掛金	620,053	1,519,138
貯蔵品	1,290	665
前払費用	22,161	26,515
繰延税金資産	-	14,331
その他	5,516	5,915
貸倒引当金	13,518	9,374
流動資産合計	1,208,872	2,900,945
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	25,501	13,690
工具、器具及び備品(純額)	13,323	15,459
有形固定資産合計	38,825	29,150
無形固定資産		
のれん	597,382	522,710
ソフトウェア	146,612	239,252
ソフトウェア仮勘定	43,342	3,500
その他	7,010	1,133
無形固定資産合計	794,348	766,596
投資その他の資産		
敷金	48,824	56,673
繰延税金資産	-	85,101
その他	50	50
投資その他の資産合計	48,874	141,825
固定資産合計	882,048	937,571
資産合計	2,090,921	3,838,517

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,099	169,527
短期借入金	50,000	125,001
1年内返済予定の長期借入金	128,060	66,660
未払金	268,638	735,225
未払法人税等	4,752	99,772
未払消費税等	14,537	66,624
預り金	4,280	6,409
前受収益	14,523	13,095
賞与引当金	2,349	6,885
ポイント引当金	4,561	3,870
その他	6,962	33,636
流動負債合計	576,764	1,326,708
固定負債		
長期借入金	133,340	88,900
繰延税金負債	3,521	-
資産除去債務	11,641	-
固定負債合計	148,502	88,900
負債合計	725,267	1,415,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,045,253	1,059,250
資本剰余金	1,286,233	1,300,230
利益剰余金	995,182	23,390
株主資本合計	1,336,304	2,382,872
新株予約権	29,349	40,037
純資産合計	1,365,653	2,422,909
負債純資産合計	2,090,921	3,838,517

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	4,727,528
売上原価	2,145,976
売上総利益	2,581,551
販売費及び一般管理費	1,567,498
営業利益	1,014,053
営業外収益	
為替差益	93
その他	635
営業外収益合計	728
営業外費用	
支払利息	4,333
営業外費用合計	4,333
経常利益	1,010,448
特別損失	
事務所移転費用	3,000
その他	266
特別損失合計	3,266
税引前四半期純利益	1,007,181
法人税、住民税及び事業税	91,563
法人税等調整額	102,954
法人税等合計	11,391
四半期純利益	1,018,573

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第3四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 損益計算書 計上額 (注)1
	エンタメウェブ	マーケティング ソリューション	計		
売上高					
(1)外部顧客への 売上高	4,238,409	489,118	4,727,528	-	4,727,528
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,463	2,232	7,695	7,695	-
計	4,243,872	491,350	4,735,223	7,695	4,727,528
セグメント利益又は損 失()	1,064,134	50,081	1,014,053	-	1,014,053

(注)1. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。

4. 補足情報

参考として、前第3四半期累計期間における損益計算書を記載します。

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	1,860,796
売上原価	908,838
売上総利益	951,958
販売費及び一般管理費	926,779
営業利益	25,179
営業外収益	3,407
営業外費用	4,938
経常利益	23,648
特別利益	107,368
特別損失	59,200
税引前四半期純利益	71,816
法人税等	2,761
四半期純利益	69,054